



現場で活躍する女性達

このコーナーは、月に1回、現場で活躍する女性に業務内容や仕事に対するやりがい、個人の抱負などを語ってもらうコーナーです。



株式会社日新

港運部 代理店課

岩崎 渚さん

PROFILE

2012年入社。神奈川出身。入社後、カウンター業務、港費精算業務を経て、2015年2月現部署の本船オペレーションチームに異動。幼いころから船が好きで将来は船に携われる仕事をしたい、との想いから日新に就職。「今は船に携われる業務につけて幸せです」異動当初、緊張で自己紹介を間違えて以来、船長からイワサクさんと呼ばれているとのこと。

～担当業務について教えてください～

私が所属する港運部代理店課では、主に横浜港におけるターミナル業、代理店業を担っております。その中でも私は、船の運航を助ける役割を担うチームに所属しています。船会社または船長の代理として、横浜港に往来する外航船舶の入出港に係る公官庁等への手続きに始まり、着岸時の本船側のちょっとした頼みごとから、有事の際の処理まで、様々な業務に取り組んでいます。運航スケジュールの決定、入港の手配、着岸後乗船して本船との打ち合わせ、出港の手続き、港費の精算を一連のルーティーンとして日々業務を行い、毎日多くの方々とやりとりをして、お力添えをいただきながら業務に励んでいます。

～仕事に対するやりがい～

本船オペレーション業務は、運航スケジュール、港費、安全面、本船側の要望、天候等、あらゆる事を考慮しながら、その一つひとつに対応することが主な業務内容です。急な天候の変化や本船トラブルなどにより、1分1秒を争いながら事態の収拾に努めることも多々あり、手に汗を握りながら本船と向き合うこととなります。時には遅くまで業務が続くこともあり苦労もしますが、信頼できる仲間と一丸となって対応し、何とか無事に帰港させられた時にはやりがいも大きいです。海に向かって進んでいく船の後姿を見ていると、とても清々しい気持ちになります。船が安全に入出港するためには、多くの会社と多くの多国籍クルーが、関わり合い、協力し合うことが必要となります。船が無事に帰港していくたびに、プロジェクトをみんなで成し遂げたかのような気持ちを、仲間だけでなく、多くの関係者の方々と分かち合うことが出来ることも、この仕事の醍醐味の一つであり、強い達成感を感じます。



～今後の抱負や目標について～

女性が活躍する場が増えてきている中、当社では、手を挙げれば男女関係なくチャレンジできる風土があります。そのような中、私は現場で活躍できるよう、率先して日々の業務に取り組んでいます。しかしながら、他業務に比べて私の担当するオペレーション業務に従事する女性はまだまだ少ないのが現状です。今後、現場に興味をもつ女性が増え、活躍できるチャンスが広がるよう、日々の業務を安全に確実にこなし、様々なことに挑戦して女性が安心して従事できる仕事のやり方を確立していくことが私の目標です。また、いつか現場を離れたとしても、現場経験を活かせる場が多いのがこの業界の特徴だと思います。当社の2015年度の結婚、育児後の復職率は100%でした。「結婚や出産を経て、新たなチームや部署にチャレンジ!」というのも楽しそうですね。

